

平成15年度の活動方針

1. 基本方針

平成12年度に策定された「けいはんな新世紀戦略プログラム」に沿って、本都市の産業機能の充実をはじめとする立地環境整備、情報ネットワーク推進、交通基盤整備及び研究成果情報発信・交流を柱とするプロジェクトを着実に展開し、セカンド・ステージ・プランの具体化を積極的に推進する取り組みを行う。また新世紀プログラムにおける重点プロジェクトは、その実行期間中においても、常に社会・経済状況や本都市の状況を見定めつつ、柔軟性と機動性を保ちながら進めると位置付けられており、本年度はその中間年次に当たるためプロジェクトの評価、見直しを行う。

重点プロジェクト等の取り組み一覧

昨年度及び今年度における活動事項の概要一覧を以下に示す。

項 目		平成14年度	平成15年度	
1.重点プロジェクト	(1)立地環境整備プロジェクト			
	(2)情報ネットワーク推進プロジェクト			
	(3)交通基盤整備プロジェクト			
	(4)研究成果情報発信・交流プロジェクト			
2.重点プロジェクトに呼応する国の支援事業等	(1)融合型公共交通システム「けいはんなITS研究開発事業」			
	(2)知的クラスター創成事業			
	(3)関西文化学術研究都市メディカルコンプレックス構築プロジェクト			
3.分野別実現化プロジェクト及び調査	(1)文化分野	文化振興プロジェクト		
	(2)学術研究分野	都市内大学等連携・交流モデルプロジェクト		
	(3)産業創出分野	技術の産業化促進拠点形成プロジェクト		
		研究開発拠点の役割分担と連携に関する調査		
	(4)都市分野	パイロットモデル都市形成プロジェクト		
		人にやさしいまちづくり推進調査		
		地域住民や地域に根ざしたNPO等多様な主体と一体となった TESTING フィールド形成調査		
	(5)情報分野	情報発信強化プロジェクト		

2. 重点プロジェクトの取り組み

(1)立地環境整備プロジェクト

産業機能の充実について具体化

- ・「研究開発型産業施設」の立地予定や津田地区の取り組みの進捗を受け、ベンチャー企業の立地支援を含む「レンタルラボ入居機関等の支援機能の強化」や「誘致活動の展開」の各取り組みとの連携化を行う。
- ・精華・西木津地区における「(仮称)ベンチャー・テクノエリア」の制度・施策面の整備について引き続き関係者と協議を行う。

(2)情報ネットワーク推進プロジェクト

地域共同利用ネットワークの強化

- ・京都デジタル疎水ネットワークと連携した接続ポイントの誘致をはじめとするネットワーク環境の整備、支援を行う。

日本原子力研究所 ITBL 構想の推進支援

- ・スーパーコンピューター資源の民間企業利用、特にベンチャー企業向けの利用促進へのサポートを行う。

高度通信実験用ネットワーク(ギガビットネットワーク)の利用促進

- ・テラビット・ペタビット対応のネットワーク誘致に向け、JGN の活用促進に継続的に取り組む。
- ・次期ネットワーク研究開発拠点として開設される「CRLけいはんなオープンラボ」の研究推進協議会に、地域としての参画のあり方を検討する。

(3)交通基盤整備プロジェクト

総合的交通体系の整備検討

- ・道路ネットワークの整備について引き続き状況・見通しの点検を行い、整備促進に向けた検討・協議を行う。また、公共輸送システムの充実については、京阪奈新線開業時に合わせたバス路線網の再編整備に向け、ITS 施策導入検討とも連携しながら総合的な交通体系の検討を進める。

(4)研究成果情報発信・交流プロジェクト

「けいはんな研究論文抄」掲載

- ・システムに改善を加えつつ、引き続き 2002 年度版のホームページ掲載、定着化を図る。

3. 重点プロジェクト或いは重点プロジェクトに呼応して取り組む国の支援事業並びに国の支援事業として導入を目指す取り組み

新世紀戦略プログラムの中で、他のプロジェクトと連携してセカンド・ステージ・プランの実現化に向けて大きな相乗効果が期待できるプロジェクトとしての取り組み

(1) 融合型公共交通システム「けいはんな ITS 研究開発事業」

平成 14 年度実験を踏まえ、融合型公共交通サービス事業モデルの検討を進めつつ、新たな実験を加える。

- ・ 地域住民のニーズに合った地域施設・通勤利用へのデマンドバス運行
- ・ カーシェアリングによる住民と就業者相互の通勤利用
- ・ 複数企業間での社用のカーシェアリング
- ・ 地域住民対象で土日・休日のカーシェアリング

(2) 知的クラスター創成事業

6 プロジェクトから 7 プロジェクト（37 テーマ）に拡充し、研究開発フェイズから事業化育成フェイズへの移行 10 テーマ、事業化フェイズへの移行 2~5 テーマを目指す。また、知的クラスターの研究成果をベースに事業化を促進し新産業を創造する「新産業創造コンソーシアム構想」を立ち上げる。

総合的な「けいはんな」からの「知」の発信として、公開講演会「フロンティアへの挑戦」、「知的クラスター成果発表会」を開催する。

(3) 関西文化学術研究都市メディカルコンプレックス構築プロジェクト

平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金、平成 16 年度調査費の獲得を目指す。構想の具現化を加速するため、事業規模・経済収支の詳細検証を行うとともに、運営主体・支援組織等の具体化検討を進める。また、市民参加型公開シンポジウムを継続的に開催する。

4. 分野別実現化プロジェクトの取り組み

(1)文化振興プロジェクト（文化分野）

○「国立国会図書館関西館」については、引き続き活用促進のための方策について、学術・研究に携わる利用者の実態を踏まえて検討し、理想の図書館サービスのあり方についての提言を行う。「私のしごと館」については、展示内容、展示方法など、雇用・能力開発機構の事業が円滑に運営されるよう支援する。

学研都市に相応しい新しい文化振興事業として、引き続きデジタル文化事業（アート&テクノロジー）を推進するため「メディアフェスティバル2003」を開催するとともに、学研都市内の文化シーズのネットワーク化に取り組む。

地域文化活動の活性化のため、文化イベントの充実を図るとともに地域の文化団体等への支援活動を一層推進する。

(2)都市内大学等連携・交流モデルプロジェクト（学術研究分野）

都市内大学の連携強化を図ることを目的に、引き続き学研都市6大学連携「市民公開講座」を開催する。

平成13年度から全国に先駆けて開催してきた「TBI技術経営セミナー」が、同志社大学マネジメントスクール・エグゼクティブプログラムとして継承され立ち上げを共同開催する。

(3)技術の産業化促進拠点形成プロジェクト（産業創出分野）

新産業創出促進法に基づくプラットフォーム事業を通じたベンチャー支援の展開や、公設試験研究機関との連携強化等による技術移転促進ネットワークの構築を引き続き目指す。

学研都市周辺地域との産学官交流会を引き続き実施し、技術高度化支援ネットワークの構築等を図る。

(4)パイロットモデル都市形成プロジェクト（都市分野）

市民参加と都市域行政（8市町）共同の地域イベント「けいはんな・フィールドミュージアム・ウォーク」を継続実施するとともに、学研都市における市民参加と8市町共同の地域づくりを担う可能性のあるNPO等市民セクターの形成状況の把握を継続し、交流企画「（仮称）学研都市・地域づくり市民フォーラム」の開催に向け取り組む。

(5)情報発信強化プロジェクト（情報分野）

都市内の研究者、住民間の迅速な情報流通と共有化に向け、「けいはんなメーリングリスト」の一層の普及を図る。また、海外からの視察に対応するため効果的なプレゼンテーションを行い、学研都市のPRを進める。